

ご挨拶

2020年10月1日付で座間総合病院人工関節リウマチセンターの新センター長に就任いたしました草場です。職務に一層精進して参る所存であります。

就任に際しまして、御挨拶かたがた私が担当しております「人工股関節手術を中心とした股関節診療」の特色につき御説明申し上げます。

○多数の実績

2020年8月末における人工股関節手術の累積件数は6,448件です。毎年300件以上の人工股関節手術を行っております。

○MIS（最小侵襲手術）による人工股関節手術

筋肉を切離さないため術後早期からのリハビリテーション開始・早期機能回復が可能であり、現在ほぼすべての手術をMISにより行っております。

○患者様の希望に寄り添った診療

股関節や全身の状態のみならず家族構成、生活状況、就業状態など個々の患者様により社会的背景は様々であると思います。本人が希望される形での最適な治療が提供できるようフレキシブルに治療プランを調整しております。

○安心して治療を受けていただけるよう、様々なサポートを提供

家庭を長期留守にできない環境（育児や介護など）にある方や、退院後の生活環境に不安がある方も安心して入院治療に専念していただけるよう、各種サポートにも注力しております。

○各種医療補助制度に対応

当院は自立支援医療（更生医療）や指定難病治療の厚生労働省指定医療機関であり、自己負担分の医療費助成制度に対応しております。

○安全な治療

総合病院である利点を生かし、入念な術前評価や全身検査の上 各科の協力のもと全身合併症がある方にも安全な治療が提供できるよう尽力しております。

○無理のない入院期間

患者様の様々な背景にあわせてご希望に沿った入院期間（早期～最大3ヵ月）を設定することにより十分なリハビリテーションを受けていただくことが可能になっております。

○リハビリテーションを重視

術後のリハビリテーションを含めたものが人工股関節手術であると解釈しております。当院の理学療法士は意欲的に股関節のリハビリテーションに取り組んでおります。また術後円滑かつ効率的なリハビリテーションのために、術前のリハビリテーションも積極的に行っております。

○退院後の入念な診療

退院後のリハビリテーション通院に加え、長期間定期的に検査と経過観察を行い、人工関節の機能とともに身体機能の状態を評価・確認し、必要に応じて骨や運動機能のメンテナンスを行っております。

○保存療法（手術以外の治療）も重視

患者様が手術は時期尚早と考えられている場合や、諸事情ですぐには手術を受けられない場合など通院で最大限の効果が得られるよう保存療法（手術以外の治療方法）にも注力しております。来院イコール即手術ではありませんので、安心して御受診いただければと存じます。

以上 当センターにおける人工股関節診療の特色につきご説明申し上げました。安心して御受診いただけるようスタッフ一同 渾身の努力をして参る所存でございます。

私は「高度かつ親切」な医療を心掛けております。

末筆ながら皆様の益々のご健勝を願っておりますことを申し上げて 拙文の結びとさせていただきます。今後も何卒よろしくお願い申し上げます。

2020年10月1日

座間総合病院人工関節リウマチセンター
新センター長

草場 敦 拝（股関節担当）